

# 171 運輸業界の高齢化への対応と働き方

## 171 運輸業界の高齢化への対応と働き方

この見出しは、東京と大阪で開催する、「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」のテーマです。昨今の「働き方改革」や加速化するドライバードライバー不足、ITの進展とどう向き合うか等、時代にマッチした内容を盛り込み、今回の企画に至りました。

### ■両輪会とは

ここで、改めて両輪会について触れたいと思います。「運輸事業者の方々が気軽に情報交換できる会ができないものか」という筆者の思いに、親交のあった事業者様のご賛同くださり、平成20年4月にスタート。ネーミングは梅田運輸倉庫の岩崎常務で、安全と健康を車の両輪のようにバランスよく取り組むことが重要という思いを、この命名に

込めてくださいました。とはいえ気軽な情報交換会ですか、難しいデリケートなテーマも参加者の本音が炸裂し、「参考になることは遠慮せず持ち帰りください」というスタンスの、いいところりができる会なのです。

### ■高齢者の働き方について

内閣府の調査で、「働けるうちはいつまでも」「70歳くらいまで、もしくはそれ以上」と答えている高齢者が8割を占め、高い就労意欲を持っていることがわかりました。これは、高齢者自身が年金収入を気にしながら、衰えた身体能力でも可能な業務内容と、働き方のバランス(負荷)を

模索しなければならないことを表しているのですが、その必要性は会社も同様です。本人と真剣に向き合いながら働かせ方を検討しなければなりません。ポイントは「健康年齢」です。これは高齢になればなるほど個人差が大きく表れ、親子ほどの差が生じるともいわれていますので、暦

年齢でのみ雇用延長等の社内ルールを作るのは得策ではありません。健康年齢の指標(ものさし)はどう図ればよいか。今後、この議論が白熱すると予想されますが、労働集約型産業であるトラック業界は急ぐべく案件かもしれません。

このような難しい案件は、両輪会のグループディスカッションでのテーマとしていきますので、ぜひ皆様とともに議論を交わりたいものです。

・東京開催…9月26日(木)

東京都トラック総合会館

・大阪開催…10月10日(木)

大阪府トラック総合会館

いずれも午後1時30分から。詳しくはHPをご覧ください。

（次回は10月14日号に掲載）



《全日本トラック協会 SAS 検査受託機関》  
NPO 法人 ヘルスケアネットワーク (OCHIS)

副理事長 作本 貞子

「安全と健康を推進する協議会(両輪会)」代表  
国土交通省健康起因事故対策協議会委員

TEL : 06-6965-3666

FAX : 06-6965-5261

東京オフィス TEL : 03-3295-1271

E-mail sakumoto@ochis-net.com

HP <http://sas.ochis-net.jp/>